



## PREFACE

## 巻頭コラム

- 448 ファーストコンタクトは近い 野尻抱介

## SPECIAL ARTICLE

## 特別解説

- 450 SNS 活動休止アカウント対応の難しさ— Twitter 活動休止アカウント停止をめぐる議論— 湯浅壘道

## SPECIAL FEATURES

## 特集

## 新時代の道具, ChatGPT : 14 の視点からその可能性を探る

- 452 編集にあたって 金子 格・山本ゆうか・天野由貴

- 453 概要

- 456 連載 : 博士号とった人に聞いてみた 清丸寛一

## 教育コーナー : ペタ語義

- 457 「情報と職業」の意義を見つめる 高橋尚子

- 458 大学の情報システム教育と 2025 年度問題の展望—シンポジウム「これからの大学の情報教育」2022 開催報告— 中鉢直宏

- 462 「情報」個別入試への道 石光俊介

## 連載 : 情報の授業をしよう!

- 467 小学校における情報科学の授業報告—「ビーバーチャレンジ学習カード」を使った実践— 井戸坂幸男

## トピックス

- 474 2022 年度 研究会推薦博士論文速報

- 476 連載 : 先生, 質問です!

## 連載 : こたつ de 議論~情報学を核とした多分野交流の現場から~

- 478 こたつのあるラボ!? ~情報学から見た異分野連携の今~ 宇野毅明

- 484 何が分からないのか分からないので議論する—情報学の新しい問題カタログづくりの実際— 武富有香・松田智裕

## 連載 : ビブリオ・トーク—私のオススメ—

- 490 縫うコンピュータグラフィックス めいぐるみから学ぶ 3DCG とシミュレーション 青木秀一

## 連載 : 5 分で分かる!? 有名論文ナナム読み

- 492 Martin Abadi, Andy Chu, Ian Goodfellow, H. Brendan McMahan, Ilya Mironov, Kunal Talwar and Li Zhang : Deep Learning with Differential Privacy 矢内直人

## 学会活動報告

- 496 情報技術の国際標準化と日本の対応— 2022 年度の情報規格調査会の活動— 情報規格調査会

## お知らせ

特集記事はオンラインのみの掲載となります (本誌には「編集にあたって」「概要」のみ掲載されます)。オンライン記事 (電子図書館) の閲覧方法につきましては 473 ページに掲載しておりますのでご確認くださいませようお願いいたします。

## 《記号の説明》

基礎 ■ 専門家向け  
 一般 (非専門家) 向け Jr. ジュニア会員向け  
 応用 ■ 一般 (非専門家) 向け Jr. ジュニア会員向け  
※各記事に指標がついていますので参考にさせていただきます

# 情報処理

常時更新中!

「情報処理」オンライン

■ Vol.64 No.9

特集：新時代の道具，ChatGPT：14の視点からその可能性を探る

- e1 ■ 1. 大規模言語モデルの驚異と脅威— ChatGPTの衝撃と大規模言語モデルの課題— (岡崎直観)
- e3 ■ 2. LLMはインターフェースである— 人間とコンピュータ，人間どうしの対話にもたらされる可能性— (宮下芳明)
- e6 ■ 3. AIはどのような仕事ができるようになったのか?— ChatGPTで変わる「優秀な人材」— (中山心太)
- e10 ■ 4. ChatGPTでつくる自分だけのバーチャルアシスタント (道井俊介)
- e14 ■ 5. ChatGPTでどこまでものぐさできるか (村上祐子)
- e15 ■ 6. AIとプログラミング言語処理 (水島宏太)
- e17 ■ 7. ChatGPTとは何なのか，どうつきあえばいいのか (奥村晴彦)
- e19 ■ 8. LLMの思考は本物か? (野尻抱介)
- e21 ■ 9. 主観か客観かではなく，一人の主観から大勢の主観へ— AIを活用した知識共創=個々の視点を統合する— (西尾泰和)
- e24 ■ 10. ChatGPTから見えてくる情報教育の今後 (斎藤俊則)
- e27 ■ 11. ChatGPTが教育機関に与えた衝撃 (天野由貴)
- e29 ■ 12. 変容する大学生の学習と日常— 学生のChatGPT活用事例— (小久保凜)
- e31 ■ 13. ChatGPTと高校生の日常 (大田仁成)
- e34 ■ 14. ChatGPTの社会的受容と産業応用へ向けた課題 (楠 正憲)



連載：教科「情報」の入学試験問題って?

- e37 ロープ飛び移りゲームと動的計画法 (久野 靖)

「情報処理」総目次 ※冊子・オンラインの記事の目次を掲載しております (目次から電子図書館の各記事へリンクしております)。

[https://www.ipsj.or.jp/magazine/contents\\_m.html](https://www.ipsj.or.jp/magazine/contents_m.html)

「情報処理」note ※人気記事や最新記事のチラ見せ，無料で読める記事などさまざまなコンテンツを公開していきます。

<https://note.com/ipsj>

note目次：[https://www.ipsj.or.jp/magazine/contents\\_note.html](https://www.ipsj.or.jp/magazine/contents_note.html)



- |  |                     |
|--|---------------------|
| 473 【ご案内】会誌「情報処理」のオンライン記事について                    | 509 英文目次            |
| 495 論文誌ジャーナル掲載論文リスト/論文誌トランザクション掲載論文リスト/IPSJカレンダー | 510 編集室/次号予定目次      |
| 502 会員の広場  | 511 掲載広告カタログ・資料請求用紙 |
| 505 人材募集   | 512 賛助会員のご紹介        |

■会誌編集委員会

編集長：五十嵐悠紀  
副編集長：加藤 由花・櫻 惇志・福地健太郎  
担当理事：木村 朝子・櫻井 祐子  
本号エディタ：  
天野 由貴・一戸 信哉・井上 創造・宇野 毅明・浦西 友樹・  
太田 智美・岡本 雅子・越智 徹・折田 明子・加藤 千裕・  
金子 格・斎藤 彰宏・酒井 政裕・島袋 舞子・白井詩沙香・  
未永 高志・須川 賢洋・高木 正則・高橋 尚子・滝澤真一朗・  
辰己 丈夫・田中 宏・中澤 里奈・中島 一彰・西川 記史・  
西原 翔太・橋本 誠志・堀井 洋・山本ゆうか・和佐 州洋

編集長の独言：<https://note.com/ipsj/m/me8e160fdbaa>  
理事からのメッセージ：  
[https://www.ipsj.or.jp/annai/aboutipsj/riji\\_message.html](https://www.ipsj.or.jp/annai/aboutipsj/riji_message.html)

■情報処理学会事務局本部

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F  
Tel(03)3518-8374 (代表) Fax(03)3518-8375  
E-mail: [soumu@ipsj.or.jp](mailto:soumu@ipsj.or.jp) <https://www.ipsj.or.jp/>  
郵便振替口座 00150-4-83484  
銀行振込 (いずれも普通預金口座)  
みずほ銀行虎ノ門支店 1013945  
三菱UFJ銀行本店 7636858  
名義人：一般社団法人 情報処理学会  
名義人カナ：シヤ) ジョウホウシヨリガツカイ  
■規格部 情報規格調査会  
〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館308-3  
Tel(03)3431-2808 Fax(03)3431-6493  
E-mail: [standards@itscj.ipsj.or.jp](mailto:standards@itscj.ipsj.or.jp) <https://itscj.ipsj.or.jp/>  
■支部 北海道/東北/東海/北陸/関西/中国/四国/九州

電子版  
-DIGITAL VER-



Fujisan



情報学広場

# 情報処理

2023  
9

Vol.64 No.9  
通巻 702 号

特集

オンライン

## 新時代の道具, ChatGPT: 14の視点からその可能性を探る

特別解説 SNS活動休止アカウント対応の難しさ—Twitter活動休止アカウント停止をめぐる議論—



巻頭コラム

ファーストコンタクトは近い  
野尻抱介

教育コーナー：べた語義

連載：5分で分かる!? 有名論文ナメ読み / オンライン 教科「情報」の入学試験問題って? /

こたつ de 議論～情報学を核とした多分野交流の現場から～ / 情報の授業をしよう! / 先生, 質問です! /

博士号とった人に聞いてみた / ビブリオ・トーク

トピックス: note 2022年度 研究会推薦博士論文速報

学会活動報告



111111

電子版もご覧ください



電子版を読む(会員無料)  
情報学広場



電子版を購入(有料)  
Fujisan



Web公開(無料/有料)  
note



一般社団法人  
情報処理学会  
Information Processing Society of Japan

## 情報処理学会トランザクションデジタルプラクティス

### 特集号論文募集

# 「well-beingなネットワーク環境構築のための インターネットと運用技術」

● ● ▶ [投稿締切] 2023年11月6日(月) 9:00 ◀ ● ●

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）のパンデミックにより、我々の生活は大きく変化した。企業活動や教育活動においては、テレワークやオンライン授業の導入が急速に進んだ。対面やオンラインだけではなく、両者を組み合わせたハイブリッドといった異なる活動形態が、感染状況に応じて柔軟に選択されるようになった。これは、これまでの対面によって制限されていた我々の活動の幅を広げたといえる。この流れは、COVID-19が収束後も止まらないだろう。

一方で、オンラインやハイブリッドを支えるネットワーク運用管理技術も複雑化する上に、より高品質な運用が求められている。それに伴い、運用者や管理者、利用者の物理的もしくは心理的な負担も増加している。

本特集号では、COVID-19が世界的に収束することを願いつつ、運用者や管理者、利用者すべての人をwell-beingにするネットワーク運用管理技術に焦点を当てる。運用者や管理者、利用者すべてが「身体だけではなく、精神面・社会面も含めた健康」を意味するwell-beingな状態を志した、これからの情報通信基盤の構築および活用に向けた最新の研究、開発、実験、運用等に関するプラクティス論文を募集する。

また理論中心ではなく実践の中で問題解決を図っており、ほかの環境においても有益であると考えられる論文を積極的に評価する。以上により、情報システムの運用技術におけるさまざまな実践的な知見・事例を共有することによって、well-beingなネットワーク運用管理技術の発展に寄与することを目指す。具体的には以下のようなトピックを対象とするが、必ずしもこれらに限定するものではない。

- ・テレワーク・オンライン授業などを支える技術
- ・システム運用管理のための技術
- ・システム運用管理における人材教育
- ・その他、システムの運用管理に関する話題

※投稿要領: Webサイトをご覧ください → <https://www.ipsj.or.jp/dp/submit/tdp0503s.html> (応募資格は問いません)

※掲載号: 2024年7月号 (Vol.5 No.3)

※特集号編集委員会:

論文誌デジタルプラクティス

編集委員長: 大谷 誠 (佐賀大学)

副編集委員長: 吉浦紀晃 (埼玉大学)

コーディネーター: 坂下 秀 (アクタスソフトウェア)

編集委員:

今泉真史 (千葉大学)、大森幹之 (鳥取大学)、柏崎礼生 (近畿大学)、北口善明 (東京工業大学)、佐藤 聡 (筑波大学)、

敷田幹文 (高知工科大学)、土屋英亮 (電気通信大学)、中山貴夫 (京都女子大学)、中村 豊 (九州工業大学)、

萩原威志 (新潟大学)、鳩野逸生 (神戸大学)、福田 豊 (九州工業大学)、松本亮介 (さくらインターネット)、

三島和宏 (大阪教育大学)、宮下健輔 (京都女子大学)、山井成良 (東京農工大学)、池部 実 (大分大学)

(論文募集公開時点 (2023年7月))

# 第4回とめ研究所若手研究者懸賞論文募集



M E K E N K  
K A T E K E  
N S Y O U R  
K E N K Y U  
T E K E N K  
Y O U R O N

2023.11.18(土)、京都烏丸コンベンションホールで  
第1回人工知能最先端技術講演会と表彰式を開催。

## 2023.7.1~2023.9.30

### 人工知能（知能情報処理技術）に関する論文 最優秀賞賞金 50万円 優秀賞賞金 10万円

応募資格：大学院博士前期課程又は後期課程在籍の学生、かつ35歳以下。面白い事をやって社会や生活を変える  
その他詳細はHPを参照。 <https://www.tome.jp/business/kenshouronbun.html> **とめ** 株式会社とめ研究所

# 研究者懸賞論文募集

## IPSJ メールニュースへ広告を出しませんか？

広告をIPSJメールニュースで配信しています。本会会員が主な読者なので、ターゲットを絞った広告に最適です。

- 配信数：約45,000通（原則毎週月曜日配信）
- 読者層：本会会員および非会員
- 形式：テキストのみ。等幅半角70字×5行。URLを入れてください。
- 掲載位置：ヘッダ（目次の上）  
フッタ（本文の最下行）
- 掲載料：ヘッダ：1回55,000円（税10%込）※3社限定  
フッタ：1回22,000円（税10%込）  
※それぞれ行数超過については別途相談
- 申込先：[広告代理店]  
アドコム・メディア（株） E-mail: sales@adcom-media.co.jp  
〒169-0073 東京都新宿区百人町2-21-27 Tel(03)3367-0571 Fax(03)3368-1519  
または、情報処理学会 会誌編集部門 E-mail: editj@ipsj.or.jp Tel(03)3518-8371
- 申込締切：毎週水曜日締切、翌週月曜日配信となります。
- 見本：

— [広告] —

■■■■ ○○セミナー ■■■■

開催日時：1月10日（火）・11日（水）・12日（木）13：00～17：00

会場：○○コンベンションセンター

会費：情報処理学会会員の方には割引があります。

詳細はこちらをご覧ください：<http://www.....com/>

— [広告] —

## コンパクトデータ構造

### 実践的アプローチ

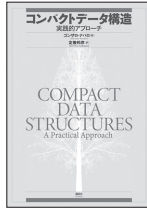
ゴンザロ・ナバロ・著 定兼邦彦・訳

★新刊

B5・608頁・定価：13,200円（税込）

ISBN 978-4-06-512476-5

150を超えるアルゴリズムの擬似コードを掲載した唯一無二の成書。理論から応用例まで、幅広いトピックをていねいに解説した。研究者必携！



## Juliaプログラミング大全

佐藤建太・著

B5変・592頁・定価：6,380円（税込）

ISBN 978-4-06-531819-5

★新刊

Juliaは科学技術計算に役立つ新しいプログラミング言語として注目されている。国内きってのJulianによる、かゆいところに手が届く名解説！基礎から実践まで、幅広いトピックを網羅した。必携の決定版！



## 最新 使える！MATLAB

青山貴伸 / 蔵本一峰 / 森口 肇・著

★第3版

A5・288頁・定価：3,080円（税込）

ISBN 978-4-06-531788-4

すぐに「使える！」ための超基本がまとまった便利な手引書。全ページフルカラー！起動や画面構成など基本的な使い方からExcelとの連携、グラフの描画、スクリプト、Simulinkまでやさしく学べます。



## テンソルネットワーク入門

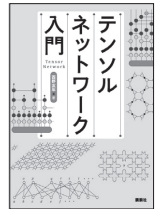
西野友年・著

A5・192頁・定価：3,630円（税込）

ISBN 978-4-06-531653-5

★たちまち3刷

基礎の基礎からよくわかる。身近な問題から始めて、テンソルの計算手法の基礎、特異値分解、アルゴリズム等を解説。画像認識や量子力学の例を用いて、少しずつ理解を深めていく。入門者に最適の一冊。



東京都文京区音羽 2-12-21  
<https://www.kspub.co.jp/>



KODANSHA



編集 ☎03(3235)3701  
販売 ☎03(5395)4415

## 若手研究者を応援！

- 放送・通信融合時代における映像・音響の新しい放送サービスに関する技術の研究・開発
- XR技術など拡張現実、仮想現実、複合現実に関連した新しい放送サービスの研究・開発
- 送信、受信、伝送、再生または表示の技術に関する研究・開発
- 映像・音響にかかわりのある基礎的研究および人間の生理・心理等に関する研究

など

申請期間は、毎年9月1日～30日。1件当たり申請限度額 500万円

詳しくはホームページをご覧ください。



技術開発への助成



公益財団法人 放送文化基金



一般財団法人  
工業所有権協力センター  
Industrial Property Cooperation Center

知財経験不問  
先端技術リサーチャー募集!

# ポスドクやPh.D取得者の 次の活躍の場として!

あなたの技術知識を  
活かしてみませんか?

## 先端技術リサーチャー3つの注目ポイント

- 01 自身の研究で培った知識を最大限発揮できる!
- 02 最先端技術に触れ、さらなるスキルアップができる!
- 03 長く安定して働くことができる!

約140名の  
Ph.D取得者  
在籍

※2023年4月1日現在



勤務地	木場オフィス:東京メトロ東西線「木場駅」〈東京(大手町駅から)7分〉 ※在宅勤務も一部可 ※転勤なし
勤務時間	フレックスタイム制
処遇等	①年収約630万円(標準業務量を達成した入団3年目の年収) ②通勤手当(新幹線通勤可)、単身赴任手当、住宅手当 ③社会保険・労働保険 完備 ④休日・休暇【年間休日120日以上】
問合せ先	人材開発センター 開発部 採用課 TEL 03-6665-7852 E-mail ipcc-jin@ipcc.or.jp

採用情報は  
こちら  
↓



日本発！国産VRCGソフトとF8VPSは  
デジタルツイン、メタバースを実現します

**UC-win/Road** 3DリアルタイムVRソフト  
**Shade3D** 統合型3DCGソフト  
**F8VPS** Web VR プラットフォーム

グローバルエンジニアリング ソフトウェアカンパニー

**FORUM8**

www.forum8.co.jp

**F8VPS** FORUM8 VIRTUAL PLATFORM SYSTEM  
Web VR プラットフォーム

あらゆる空間のバーチャルシステムを構築！

PC、タブレットスマホなどのWebブラウザでアバターによるリアルタイムコミュニケーションが行えるクラウドシステムを短期間で作成。目的に応じたパッケージカスタマイズ製品としても提供可能。



バーチャルショールームでVR空間をユーザーと共有！

展示会、カンファレンスなど大規模なイベントにも。ヘッドマウントディスプレイ等を利用した没入型VRにも対応。



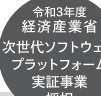
バーチャル展示会で製品を実感！

製品や商品の確認、資料閲覧が可能。抽選やアンケートなど来場者とのコミュニケーション機能にも対応。



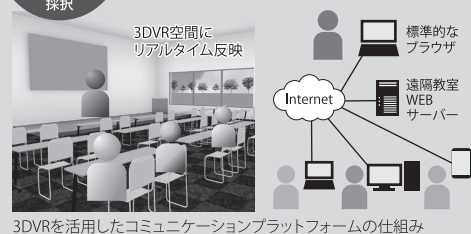
バーチャルオフィスでさまざまな情報を共有！

マップ情報の作成で、自由にフロア移動が可能。部屋の移動で会議、休憩、外出などとモードを切替え視覚的に情報を共有。



XR技術を用いた次世代コミュニケーションプラットフォーム開発事業

3DVRをクラウド上でインタラクティブに活用できる「F8VPS」を基本システムとして、MRデバイスを使った低遅延・多拠点リアルタイムシステム対応。

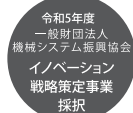


MR連携デバイスを用いたバーチャル講義

メタバース提案事例：「メタバースを活用した就業・社会参加支援プラットフォーム」



AIと連携してメタバース空間内でのコミュニケーションを最適化し、引きこもりユーザーを中心とした層の就業・社会参加支援プラットフォームとして活用。あらゆる人が社会貢献できる環境・仕組みとして広く展開する。



メタバース×NFTの研究開発を推進

VR、WebVRプラットフォームやNFT関連サービスの研究開発拠点としてケンブリッジ虎ノ門研究室を開設（2022年12月）。メタバース空間をプラットフォームとしてNFTを発行・流通し活用可能なツールを開発中。



(一財) 最先端表現技術利用推進協会 (表技協) のご案内

同協会の最先端表現技術の調査研究・活用への取り組みに弊社は全面協力し、人材育成・社会貢献を推進しています。

表現技術検定 (クラウド-AI)



<b>日時</b>	2023年12月12日 (火) 9:30~17:00	<b>試験委員</b>	小林佳弘 (表技協理事、アリゾナ州立大学)	詳細
<b>場所</b>	本会場：フォーラムエイト 東京本社セミナールーム 大阪・名古屋・福岡・仙台・札幌 金沢・岩手・宮崎・沖縄+オンライン		大石裕一 (ソフトバンク株式会社 法人事業統括 クラウドエンジニアリング本部) 荻野 調 (DeepScore株式会社 Founder & CEO)	
<b>受講料</b>	12,000円 (テキスト(書籍)代金+検定証発行手数料込み、税込)		林 憲一 (信州大学社会基盤研究所 特任教授) 他	

第7回 羽倉賞 最先端の表現技術による取り組みを表彰！



応募作品募集中！



**応募期間** 2023年7月1日 (土) ~ 10月1日 (日)  
**表彰式** 第17回 FORUM8デザインフェスティバル2023 2023年11月10日 (金) 品川インターシティホール

羽倉賞 推薦窓口団体

- CG-ARTS (公益財団法人 画像情報教育振興会)
- 特定非営利活動法人 日本バーチャルリアリティ学会 (VRSJ)
- 一般社団法人 情報処理学会 (IPSJ)
- 超臨場感コミュニケーション産官フォーラム (URCF)

第6回 羽倉賞 受賞作品 (2022年)

推薦：(一社) 情報処理学会  
「アナモルフォシスに基づく個人用裸眼立体視システム」

慶應義塾大学理工学部 情報理工学科 藤代一成研究室



フォーラムエイトの新刊書籍 [2023年7月出版]



1日で学べる  
クラウド・AI

クラウド・AI 表現技術検定 認定

小林 佳弘 著 定価 1,980円 (税抜1,800円)  
アリゾナ州立大学 准教授 発行：2023年7月4日  
発行：フォーラムエイトパブリッシング



書籍のご購入はフォーラムエイト公式サイト  
または amazon.co.jp rakuten.co.jp yahoo.co.jp  
にてお買い求め頂けます



クラウド・AIを体系的に学びたい人や  
リスニング用の学習資料に最適！

目次

1. クラウドの基礎
2. クラウドサービス
3. クラウドの技術
4. クラウドの導入
5. クラウドサービス事業者
6. クラウド活用事例
7. クラウド演習
8. 人工知能の基礎
9. ニュートラルネットワーク概要
10. 畳み込みニューラルネットワーク
11. 再帰型ニューラルネットワーク
12. 敵対的生成ネットワーク
13. トランスフォーマ
14. 人工知能サービス
15. 人工知能演習

1日で学べる！

new!

本書を表現技術検定講習テキストとして受講者に配布

\*製品名、社名は一般に各社の商標または登録商標です。



# データサイエンスリテラシー

応用事例と演習から学ぶ「誰も」が身につけたい力

高橋弘毅・市坪 誠・河合孝純・山口敦子 著

定価2,530円(本体2,300円+税) / B 5判 / 240ページ ISBN:978-4-407-35257-3

- 数理・データサイエンス・AI(リテラシーレベル)モデルカリキュラム準拠。
- データサイエンスの基礎を学び、演習を通じて実践的な力を身につけるテキスト。
- 知識の定着に加え、知識の活用、学習者が主体的に学ぶ応用につながる演習やグループワークも提示。



# 大学基礎 データサイエンス

数理・データサイエンス・AI(リテラシーレベル)モデルカリキュラム準拠

伊藤大河・川村和也・内田 瑛・河合麗奈 著

定価1,100円(本体1,000円+税) / A 5判 / 144ページ ISBN:978-4-407-36122-3

- 数理・データサイエンス・AI(リテラシーレベル)モデルカリキュラムのキーワードをできるだけ取り上げた。「4. オプション」は一部のみ。
- 文系も含めた全学履修に配慮し、計算はPCに任せる前提として、数式は扱っていない。
- データサイエンスの学習にスムーズに取り組めるよう身近な事例を挙げて紹介。

**新刊**

2023年8月発行



実教出版株式会社 企画開発部

〒102-8377 東京都千代田区五番町 5 番地

TEL 03-3238-7765 FAX 03-3238-7770

https://www.jikkyo.co.jp/ E-mail kikaku2@jikkyo.co.jp

# 第1回人工知能 最先端技術講演会

2023.11.18(土) 14:00-16:00

京都烏丸コンベンションホール

入場  
無料

～人工知能技術の現状と動向について～

参加申込 当社 HP 申込フォームからお申込み下さい  
https://www.tome.jp/business/kouenkai.html



T O M K N E K E  
W A K E O R T A  
K E N R U O Y S

講演 人間-AI協働のための信頼構築に向けて  
～ChatGPTを例として～

国立情報学研究所・教授/人工知能学会元会長・顧問

山田 誠二氏



講演 ディープラーニングによる研究開発の実際  
とめ研究所第二開発部グループリーダー 課長 坂口 智彦

表彰式 第4回とめ研究所若手研究者懸賞論文

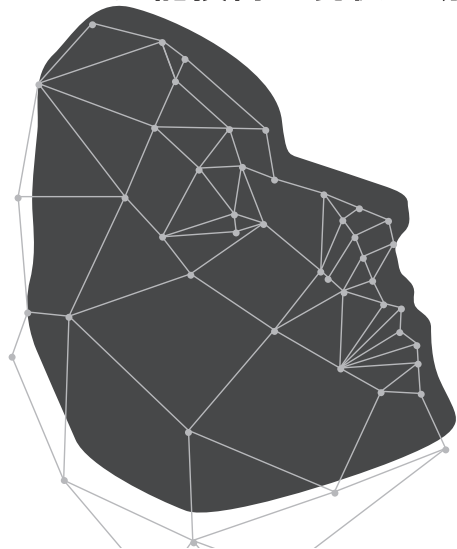
(現在、博士課程在籍の学生を対象とする懸賞論文を募集中。最優秀賞賞金50万円。2023.9.30まで)

主催

面白い事やって社会や生活を変える  
とめ 株式会社とめ研究所  
URL: https://www.tome.jp

問合先(講演会事務局)

有限会社セクレタリアット  
TEL: 075-315-8472  
E-mail: kouenkai\_tome@secretari.jp



## 情報処理学会トランザクションデジタルプラクティス 特集号論文募集

# 「IT と教育—高等教育機関と社会の繋がり」

〔投稿締切〕 2024年1月22日（月） 9：00

日本の高等教育機関は、これまで、若者の学位取得に主眼を置いた経営を展開してきており、社会との連携を必要とする成人の生涯にわたる学びについては積極的には取り組んでこなかった。企業の教育もまた、長らく年功序列制度に基づく雇用を前提にしたキャリア形成のためのものが主流であり、成人の学び直しについての動機は薄く、いまだにキャリアチェンジのための環境整備は整っていない。

しかしながら、社会全体が激しい変革の時代を迎えている時代において、個々人は適応力と競争力を維持するために、生涯にわたる自らの能力のアップデートを求められ、成人の学び直しは不可欠となっている。同時に企業も、超高齢化社会を前にして、新たな労働力の創出や、労働年齢の延伸を希求するようになってきている。

こうした背景から、リスキリングや生涯教育といったキーワードに見られるように、高等教育機関は、社会との連携を強化することで、人々の生涯学習を支援し、個人が自己成長や自己実現を追求するための場としての機能を求められるようになってきている。また、産学連携を通じた地元企業と、そして高大接続などによる地域の教育機関との連携を進め、地域のニーズや産業の要求に即したカリキュラムやプログラムを開発することで、社会との関わりを強化することが求められている。

今や、高等教育機関も企業もそして個人も従来の枠組みを超えて人々が生涯学び続けるための仕組みを構想する段階に来ている。

本特集では、ITによる学び続けるための教育の仕組みを通じて、高等教育機関と社会との広範なかかわりを促進し、人々が生涯学習を続けられるような実践的な取り組みや実証研究の展開を求めたい。

以下のようなトピックを歓迎するが、これらに限定されるものではない。

- ・ リスキリング・生涯教育
- ・ 高大接続

また、上記のトピックを実現する、より具体的な以下のような観点からの投稿も歓迎する。

- ・ ITによる教育のエコシステムの構築
- ・ 教育を変革するWeb サービス
- ・ 教育を支えるインターネット運用技術
- ・ 教育と新しい情報通信ネットワーク
- ・ 教育を守る情報セキュリティ
- ・ オンライン教育の新しい取り組み
- ・ ブロックチェーンを利用した教育に関するユースケース
- ・ AIの教育への適用および実践的AI技術
- ・ EdTech
- ・ ラーニングアナリティクス

※投稿要領: Webサイトをご覧ください→ <https://www.ipsj.or.jp/dp/submit/tdp0504s.html> (応募資格は問いません)

※掲載号: 2024年10月号 (Vol.5 No.4)

※特集号編集委員会:

編集委員長: 堀真寿美 (大阪教育大学)

副編集委員長: 宮下健輔 (京都女子大学)

コーディネーター: 坂下 秀 (アクタスソフトウェア)

編集委員: 喜多敏博 (熊本大学)、重田勝介 (北海道大学)、白井詩沙香 (大阪大学)

新村正明 (信州大学)、古川雅子 (国立情報学研究所)、望月雅光 (創価大学)

(論文募集公開時点(2023年7月))



## FIT2023 第22回情報科学技術フォーラム 聴講参加の御案内

2023年9月6日(水)～8日(金) 大阪公立大学 中百舌鳥キャンパス (ハイブリッド開催)

<https://www.ipsj.or.jp/event/fit/fit2023/>

電子情報通信学会の情報・システムサイエティ (ISS) とヒューマンコミュニケーショングループ (HCG)、及び情報処理学会 (IPSJ) は、「第22回 情報科学技術フォーラム (FIT: Forum on Information Technology)」を開催します。皆様、奮ってお申込み下さい。講演論文集 (冊子、DVD-ROM) も販売を行います。

### ■開催イベント (詳細は逐次Webサイトに掲載致します)

#### 【表彰式・招待講演企画】

##### ◎FIT学術表彰式

7日 13:00-13:50

##### ◎船井業績賞記念講演

7日 14:00-15:15

講演タイトル: データベースシステムとの40年の悪戦苦闘

喜連川 優 (情報・システム研究機構 機構長/東京大学 特別教授、総長特別参与)

#### 【トップコンファレンスセッション】

最近数年間に各分野のトップレベルの国際会議・学術雑誌で発表された論文の著者に、その内容を紹介して頂く特別なセッションです。

優れた研究内容を把握できるとともに、その著者たちとの質疑応答や情報交換ができる貴重な機会です。ぜひご利用ください。

#### 【イベント企画】 ※タイトル等は変更の可能性があります。

各学会の関係研究会や委員会などから構成されるプログラム委員会において、ホットなトピック、分野横断的な研究テーマ、学生や若手へのメッセージを込めた話題などを中心に、多くの興味深いイベントを企画中です。以下はその一部を抜粋したものです。内容や日時は変更される場合があります。最新の情報は Webページでご確認ください。

6日 13:10～15:10	際を究める ～「×情報学」による分野横断型研究@OMU
15:30～17:30	Vision-and-Languageの最前線
7日 9:30～12:30	IoTが拓く未来: ~IoT技術による異分野融合~
15:30～17:00	大規模言語モデルに関する特別講演 (鈴木 潤 (東北大学))
15:30～17:30	学術変革 (A) アルゴリズム基盤 (AFSAプロジェクト) 「グラフ教養上げ国際競技会」開催報告シンポジウム
8日 9:30～12:00	高校情報科の現状と次期改定
9:30～10:30	デジタルプラクティスPlus+
13:10～15:40	Society 5.0社会のためのコンピューティング技術をどう生かすか?
13:10～15:40	アルゴリズム運用と法律の関係

#### 【研究会連携】

電子情報通信学会および情報処理学会のいくつかの研究会が、FIT2023のプログラムとして開催されます。詳細は Webページでご確認ください。

### ■聴講参加費 (税込\*)

現地参加、オンライン参加ともに同価格です。 \*税率は10%です。

参加区分	価格
会員	13,200円
非会員	26,400円
学生	無料

※会員、非会員の聴講参加費には電子版講演論文集 (Webからダウンロード) が含まれております。

※学生の聴講参加 (無料) には電子版講演論文集は付いておりません。電子版講演論文集付きを希望の場合、参加費は 2,200円 (税込) となります。

※会員、非会員、学生の参加区分の区別は次の通りです。

会員: 情報処理学会、電子情報通信学会、電気学会、照明学会、映像情報メディア学会及び電子情報通信学会と協定を締結した海外の学会 (IEIE、KICS、KIISE、REV、IEEE/CS、IEEE/ComSoc、IEEE/PHO、IEEE/MTT-S) または情報処理学会と協定を締結した海外の学会 (ACM、IEEE、IEEE/CS、KIISE、CSI、CCF) の個人会員、電子情報通信学会の維持員、情報処理学会の賛助会員。

非会員: 左記の学会会員以外で学生以外の方。

学生: 会員/非会員を問わず無料 (電子版講演論文集は付きません)。

### ■聴講参加の申込

申込締切: 2023年9月8日 (金) FIT最終日まで

申込方法: FIT2023Webサイトからお申込み下さい。

### ■冊子講演論文集・DVD-ROM販売価格 (税込)

申込種別	個人購入価格	法人購入価格
講演論文集セット (DVD-ROM付)	66,000円	66,000円
講演論文集分冊	14,300円/冊	17,600円/冊
講演論文集DVD-ROM	11,000円	61,600円

※講演論文集セットは冊子講演論文集全分冊 (カバー付き)、DVD-ROM 付き

※残部のある限りということになりますので、予め御了承下さい。

※残部がある場合、学生の方には講演論文集DVD-ROMを学割価格4,400円にて販売致します。

### ※講演論文集の掲載分野 (予定分冊構成)

- 第1分冊: モデル・アルゴリズム・プログラミング、ソフトウェア、ハードウェア・アーキテクチャ
- 第2分冊: データベース、自然言語・音声・音楽、人工知能・ゲーム、生体情報科学
- 第3分冊: 画像認識・メディア理解、グラフィクス・画像、ヒューマンコミュニケーション&インタラクション、教育工学・福祉工学・マルチメディア応用
- 第4分冊: ネットワーク・セキュリティ、ユビキタス・モバイルコンピューティング、教育・人文科学、情報システム
- DVD-ROM: 上記全論文とプログラムを収録

### ■講演論文集の申込

申込方法: FIT2023 Webサイトからお申込み下さい。

### ■次年度のFIT開催

2024年9月4日 (水)～6日 (金)

広島工業大学 五日市キャンパスにて開催予定

### ■問い合わせ (FIT事務局)

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F

一般社団法人 情報処理学会 事業部門

TEL [03] 3518-8373 E-mail: ipsjfit@ipsj.or.jp

〒101-0062  
編集人 五十嵐悠紀

発行所 東京都千代田区神田駿河台1-5  
発行人 一般社団法人 情報処理学会

振替口座 東京(〇三)三五八三七八四  
〇〇一五〇一四一八三三八四

印刷所 東京都荒川区西日暮里六十二番一  
三美印刷株式会社

会員外発売所

株式会社 オーム社  
東京都千代田区神田錦町三十一

定価 1,760円 (本体 1,600円 + 税 10%)

本誌広告一手取扱い アドコム・メディア株式会社

〒169-0073 東京都新宿区百人町 2-21-27 TEL.03-3367-0571 FAX.03-3368-1519

雑誌 05269-09



4910052690936  
01600